



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 天馬株式会社
 コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 兼人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 須藤 隆志

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,793	6.9	978	188.4	1,087	197.4	974	474.2
2019年3月期第1四半期	20,391	8.1	339	58.8	366	70.0	170	81.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,223百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 1,509百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	40.39	
2019年3月期第1四半期	7.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	95,307	74,706	78.4	3,096.20
2019年3月期	92,246	74,964	81.3	3,106.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 74,706百万円 2019年3月期 74,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		60.00	80.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	9.3	1,300	154.0	1,400	71.6	1,100	135.4	45.59
通期	90,000	6.2	3,000	26.1	3,200	1.5	2,500	12.5	103.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	26,813,026 株	2019年3月期	27,813,026 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	2,684,589 株	2019年3月期	3,684,549 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	24,128,467 株	2019年3月期1Q	24,129,228 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)における世界経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移する米国及び欧州の経済に支えられ、底堅く推移しましたが、米国の保護主義的な通商政策の先行きは引き続き不透明であり、輸出が減少基調となっている中国経済の回復が遅れる等、依然として景気減速リスクが残る状況となっております。

また、わが国経済は、個人消費は緩やかな回復基調が持続しましたが、10月に予定されている消費増税の影響もあり、消費者の低価格志向は根強く、今後の経済への影響が懸念される状況となりました。

このような状況の中、当社グループは第2次中期経営計画の経営戦略である、「①要素技術である射出成形技術と金型等周辺技術の深耕」、「②グローバル戦略の推進」、「③国内自社製品分野の採算性改革」、「④製造工程における自動化推進」、「⑤海外拠点の人材育成強化」に注力してまいりました。

この結果、売上高は21,793百万円(前年同期比106.9%)となり、営業利益は978百万円(前年同期比288.4%)、経常利益は1,087百万円(前年同期比297.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は974百万円(前年同期比574.2%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、採算性の改善に取り組むなか、不採算製品を廃止したこと等により売上が減少しました。また、工業品合成樹脂製品分野の受注につきましては、概ね計画通りに推移しました。一方、利益面につきましては、物流コストの増加等に対処するため、製品構成の見直しや物流の最適化等の施策を着実に実施したことにより、大幅増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,184百万円(前年同期比97.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は342百万円(前年同期比293.1%)となりました。

(中国)

工業品合成樹脂製品分野において、取引先の生産が東南アジアへシフトする状況が続くなか、天馬精密注塑(深圳)有限公司を中心に新規受注の獲得等により売上が増加しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、引き続き2拠点体制での生産・販売活動を行い売上が微増となりました。利益面につきましては、売上の増加及び稼働の向上により増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、5,954百万円(前年同期比111.8%)となり、セグメント利益(営業利益)は308百万円(前年同期比170.6%)となりました。

(東南アジア)

工業品合成樹脂製品分野において、引き続き旺盛な東南アジアでの需要を確実に捉え、ベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.及びタイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.で売上が伸長し、インドネシアのPT. TENMA INDONESIAにおいても車両関連の受注が好調に推移しました。利益面につきましては、前期に発生していた立上げに伴う先行費用を、売上の増加と改善活動の継続により着実に回収し、前年同期比で大きく増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,656百万円(前年同期比110.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は579百万円(前年同期比189.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,061百万円増加し、95,307百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が727百万円、現金及び預金が315百万円、それぞれ減少しましたが、国際財務報告基準を適用している海外子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を適用したことにより、使用権資産が4,139百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,318百万円増加し、20,601百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が240百万円減少しましたが、固定負債のリース債務が3,825百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて257百万円減少し、74,706百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が391百万円増加しましたが、自己株式の消却等により資本剰余金が1,451百万円減少し、控除項目である自己株式が1,451百万円減少したこと及び利益剰余金が505百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で進捗しておりますので、2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました内容を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,011,614	30,696,976
受取手形及び売掛金	17,437,062	16,709,961
商品及び製品	3,125,209	2,970,612
仕掛品	628,217	610,667
原材料及び貯蔵品	3,820,686	3,969,923
その他	1,802,228	1,844,682
貸倒引当金	△2,906	△1,831
流動資産合計	57,822,110	56,800,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,327,840	10,389,250
機械装置及び運搬具(純額)	10,525,109	10,516,187
使用権資産	—	4,138,832
その他	4,893,223	4,852,313
有形固定資産合計	25,746,172	29,896,581
無形固定資産	3,096,443	3,082,473
投資その他の資産		
投資有価証券	3,800,413	3,769,916
退職給付に係る資産	1,234,743	1,242,045
繰延税金資産	37,538	49,335
その他	515,790	472,416
貸倒引当金	△6,734	△6,734
投資その他の資産合計	5,581,750	5,526,978
固定資産合計	34,424,365	38,506,032
資産合計	92,246,475	95,307,022
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,305,862	10,066,063
未払法人税等	325,524	222,670
賞与引当金	855,978	859,991
その他	3,867,276	3,756,421
流動負債合計	15,354,640	14,905,144
固定負債		
役員株式給付引当金	60,280	69,095
退職給付に係る負債	353,762	351,002
リース債務	—	3,824,778
資産除去債務	204,908	208,584
繰延税金負債	1,052,283	985,241
長期末払金	256,695	256,695
固定負債合計	1,927,928	5,695,395
負債合計	17,282,568	20,600,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,982,736	17,531,578
利益剰余金	39,460,647	38,955,272
自己株式	△5,405,075	△3,953,993
株主資本合計	72,263,659	71,758,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	895,356	770,300
為替換算調整勘定	1,400,900	1,791,517
退職給付に係る調整累計額	403,924	386,388
その他の包括利益累計額合計	2,700,180	2,948,205
非支配株主持分	68	72
純資産合計	74,963,907	74,706,484
負債純資産合計	92,246,475	95,307,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	20,391,232	21,793,064
売上原価	17,146,659	17,931,797
売上総利益	3,244,573	3,861,266
販売費及び一般管理費	2,905,619	2,883,578
営業利益	338,955	977,689
営業外収益		
受取利息	33,654	37,546
受取配当金	66,171	63,160
持分法による投資利益	—	20,694
その他	24,984	32,726
営業外収益合計	124,809	154,125
営業外費用		
支払利息	—	6,922
売上割引	28,025	26,119
為替差損	68,358	11,056
その他	1,685	260
営業外費用合計	98,068	44,357
経常利益	365,695	1,087,457
特別利益		
固定資産売却益	6,426	86,819
特別利益合計	6,426	86,819
特別損失		
固定資産売却損	1,276	2,387
固定資産除却損	45,476	81
特別損失合計	46,752	2,468
税金等調整前四半期純利益	325,369	1,171,808
法人税等	155,653	197,313
四半期純利益	169,716	974,495
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,718	974,493

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	169,716	974,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,419	△125,056
為替換算調整勘定	△1,621,554	390,619
退職給付に係る調整額	△10,961	△17,536
その他の包括利益合計	△1,678,935	248,028
四半期包括利益	△1,509,219	1,222,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,509,211	1,222,519
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2019年2月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,451,158千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「使用権資産」が4,138,832千円増加し、流動負債の「その他」が106,033千円及び固定負債の「リース債務」が3,824,778千円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は27,960千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,334,406	5,324,129	8,732,698	20,391,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,260	45,555	—	71,815
計	6,360,666	5,369,683	8,732,698	20,463,047
セグメント利益	116,602	180,508	305,012	602,121

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	602,121
セグメント間取引消去	△18,132
全社費用(注)	△245,034
四半期連結損益計算書の営業利益	338,955

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,183,560	5,953,592	9,655,912	21,793,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,221	39,375	81	66,677
計	6,210,781	5,992,967	9,655,993	21,859,741
セグメント利益	341,711	307,976	578,555	1,228,243

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,228,243
セグメント間取引消去	2,755
全社費用(注)	△253,310
四半期連結損益計算書の営業利益	977,689

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。